

令和7年度 埼玉県精神障害者支援の障害特性と支援技法を学ぶ研修カリキュラム

別紙1

1 オンデマンド研修

(1) 精神保健福祉センター主催「令和7年度下半期精神保健福祉研修」より、以下の講義がオンデマンド研修の対象です。動画再生リストのURLを送付しますので、指定受講期間内に受講してください。

(2) 以下の全講義を受講するとともに、アンケートの提出をもって受講確認としますので、アンケート提出の〆切日を厳守してください。

※本研修はアンケートがございます。別途、受講決定のお知らせとともにアンケート用紙を送付いたします。アンケート提出期限：令和8年1月18日(日)

| 受講期間 | 講義番号 | 概要 | 時間(分) 予定 | 内容 | 講師 |
|----------------------------|-------|----------------------------|-------------|--|----------------------------------|
| 令和7年12月19日（金）～令和8年1月18日（日） | 講義 1 | 精神保健福祉法改正等の施策の動向 | 30 | 包括ケアシステムの目指すものや、精神保健の重要性、施策の動向について基本的な理解を深める。 | 社会福祉法人じりつ 理事長 岩上洋一 |
| | 講義 2 | 地域包括ケアシステムについて | 30 | 地域での事例をもとに、地域包括ケアシステム実現のために保健・医療・福祉関係者等それぞれができるることを考える。 | 埼玉県立精神保健福祉センター 地域支援担当 主査 吉川圭子 |
| | 講義 3 | 統合失調症 | 60 | 精神障害者の支援を考える上で基本となる統合失調症について、疾病的特徴、治療や支援方法について学ぶ。 | 埼玉県立精神医療センター 病院長 黒木規臣 |
| | 講義 6 | 気分障害、神経症・心身症 | 60 | それぞれの疾患について、概念や要因、症状やその治療法について学びを深め関わり方のポイントを学ぶ。 | 精神保健指定医 本間昭博 |
| | 講義 7 | 精神科医療との連携 (入院形態) | 60 | 医療との連携の上で必要な、精神科医療機関の機能や役割を理解し、精神保健福祉法や精神科の入院形態等を学ぶ。 | 埼玉県立精神医療センター 療養援助部 副技師長 山内千恵美 |
| | 講義 9 | 統合失調症を持つ人の理解と支援 | 60 | 支援者が知っておくべき本人の生活のしづらさ、接し方や関わり方の工夫、精神科リハビリテーションの考え方について学ぶ。 | 埼玉県済生会鴻巣病院 院長補佐 関口暁雄 |
| | 講義 10 | 精神保健に課題を抱える方の相談の受け方とアセスメント | 60 | 精神保健領域の相談に必要な、疾病性・事例性の概念を知り、相談の受け方（見立て・方針・援助）やアセスメント技術の向上を学ぶ。 | 埼玉県立精神保健福祉センター 企画広報担当 主査 吉田太郎 |
| | 講義 11 | 対応に苦慮する事例へのアセスメントや支援について | 60 | 母子保健、ひきこもり、高齢福祉分野で、支援が進まない、支援を拒否するなど対応に苦慮する事例をどのように見立てるか、アセスメントを深め、支援に生かす。 | 菊池臨床心理オフィス 菊池礼子 |
| | 講義 12 | 家族相談の受け方 家族の理解と支援について | 60 | 本人が登場しない家族相談を受ける際の基本姿勢、家族と本人のより良い関わりを促すために今日から使えるポイントを学ぶ。 | 埼玉県立精神保健福祉センター 企画広報担当 主査 山神智子 |
| | 講義 14 | 依存問題を抱える事例への相談や支援について | 60 | 依存問題の相談の受け方や心構え、本人・家族相談の実際～「依存」の背景にある生活課題や問題を知る～ | 浦和まほろ相談室 高澤和彦 |

2 オンライン研修

- (1) 日時 令和8年2月12日(木) 午後1時30分から午後4時00分まで
 (2) 内容 事例演習

| | |
|-------|--------------------|
| 13:30 | オリエンテーション |
| 13:40 | 事例A グループワークによる事例演習 |
| 14:45 | 休憩 |
| 15:00 | 事例B グループワークによる事例演習 |
| 15:50 | まとめ |

【オンライン研修（演習）講師】

埼玉県相談支援専門員協会

社会福祉法人恩賜財団済生会支部埼玉県済生会指定管理自立訓練施設けやき荘職員

埼玉県立精神保健福祉センター職員